

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（浜松医科大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄
リアルタイム配信、オンデマンド型配信などの遠隔授業を行い、学生の質疑応答の機会を確保し学習の質を維持したほか、リアルタイム配信であっても録画して後日アップロードの上、学生が復習しやすくし習熟度を高めるようにした。
令和2年3月以来、臨床実習・臨地実習について感染防止対策を講じ、近隣大学が臨床実習等を中止する中でも本学は令和3年8月に学生のコロナ感染者が判明した後の2週間の中止期間を除き、臨床実習等を継続し、学生の臨床能力の向上に努めた。
臨床実習・臨地実習を行う学生が就職活動等のためやむを得ず緊急事態宣言等発令地域を訪れた場合、浜松市に戻った後2週間は患者さんとの接触を避けた実習や、シミュレータを用いた実習を行うなどして臨床能力の向上に努めた。
オンラインでの特性を活かした授業を実施し、学生からの評価も高い教員に賞を授与することにより、教員の意欲を高め、授業の質向上を図っている。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄
学生がコロナ禍でも円滑にレポート提出できるよう教員にラーニングマネジメントシステムの利用を促進した。
アパート等の通信環境が十分でない学生には、教室を開放し、遠隔授業の受講を支援した。
大学後援会に協力を依頼し、感染拡大の影響によりアルバイト収入が減少するなど生活維持に困難が生じた学生に無利子・無担保の貸付制度(1か月最大5万円、貸付期間最長6か月、返済は貸付最終月の3か月後から)を設けた。（貸付実績：1名）
令和2年5月、新入生の運動不足解消のため自宅でできるトレーニング講座をZoomで配信した。（全7回）
令和2年度実施できなかったが、令和3年度は新入生オリエンテーションを一部オンラインを取り入れるなど感染対策を講じた上で実施し、新入生同士や教員との交流のきっかけづくりに寄与した。
新型コロナウイルス感染の防止、学生の不安に配慮して、学生の心のケアを行うため保健管理センターにおいて、令和3年1月からZoomを利用したオンライン相談を開始した。（オンライン相談実績：6名）
体調不良学生の情報共有（教育・産学連携担当理事、保健管理センター、附属病院感染対策室、学務課）を連日実施し、感染拡大防止のため迅速に対応している。
令和3年8月、全国的に感染が拡大したことから、感染予防とメンタルヘルス維持を目的に動画を作成し、全学生に配信した。（視聴学生数：839名（学部学生））
令和3年8月25日～9月1日、夏季休暇後の学生941名（大学院生を一部含む）に抗原定量検査を実施した。
濃厚接触者となった学生の自宅待機期間（2週間）中、保健管理センターからのメールや健康管理アプリケーションによる体調チェックおよび不安への相談対応などサポートを行っている。